

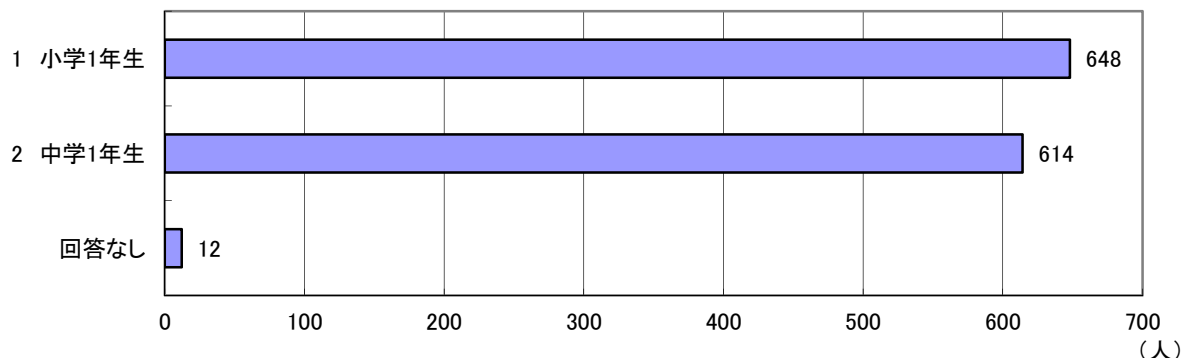
【別添】

実態調査結果

1. 保護者対象実態調査 集計結果・・・・・・・・・・ P. 1
2. 関係機関・地域関係者対象実態調査 集計結果・・・・ P. 8

保護者対象実態調査 集計結果

問1 この質問票を持ち帰ったお子さんの学年にマークしてください。

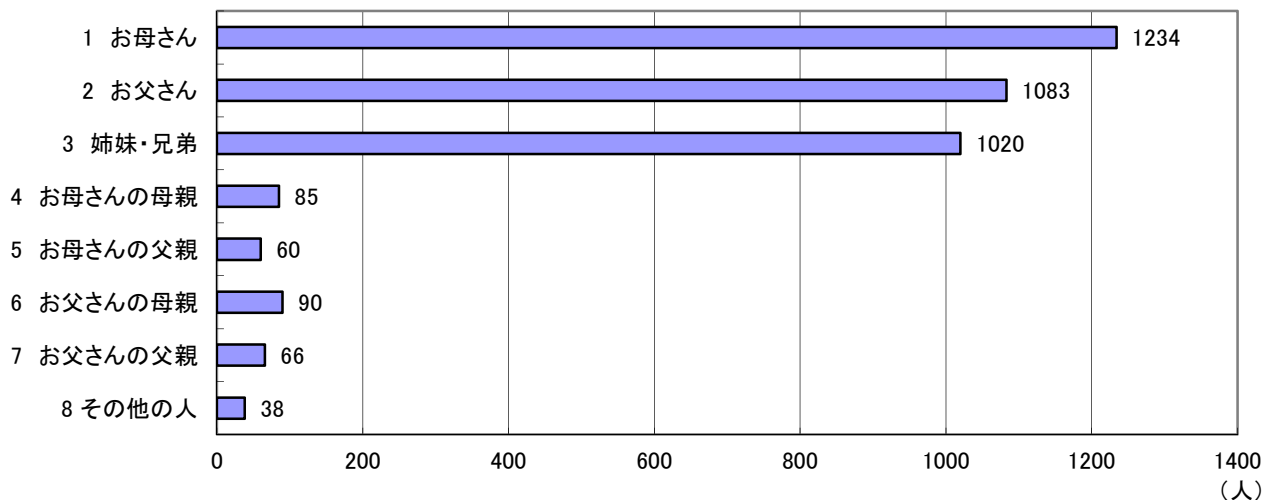


問2 この質問票を持ち帰ったお子さんのご家族について、あてはまる方の番号すべてにマークしてください。 ご家族とは、家計を一緒にし、普段一つの家屋で生活している方を指します。

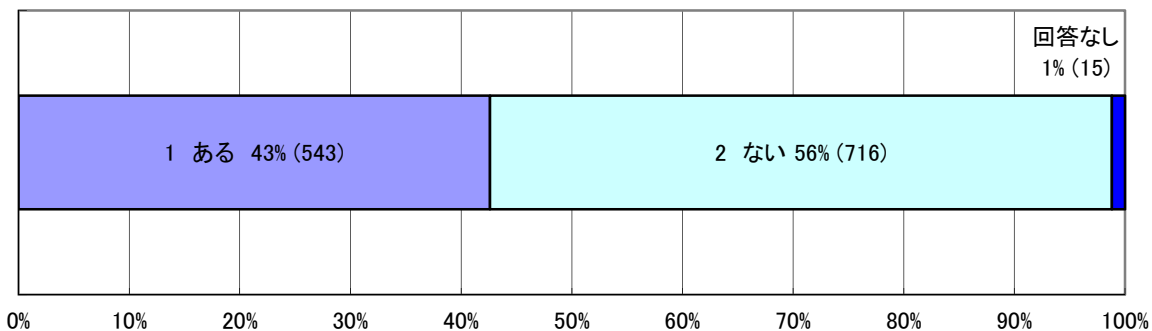
(複数回答)

※お父さんとお母さんの関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

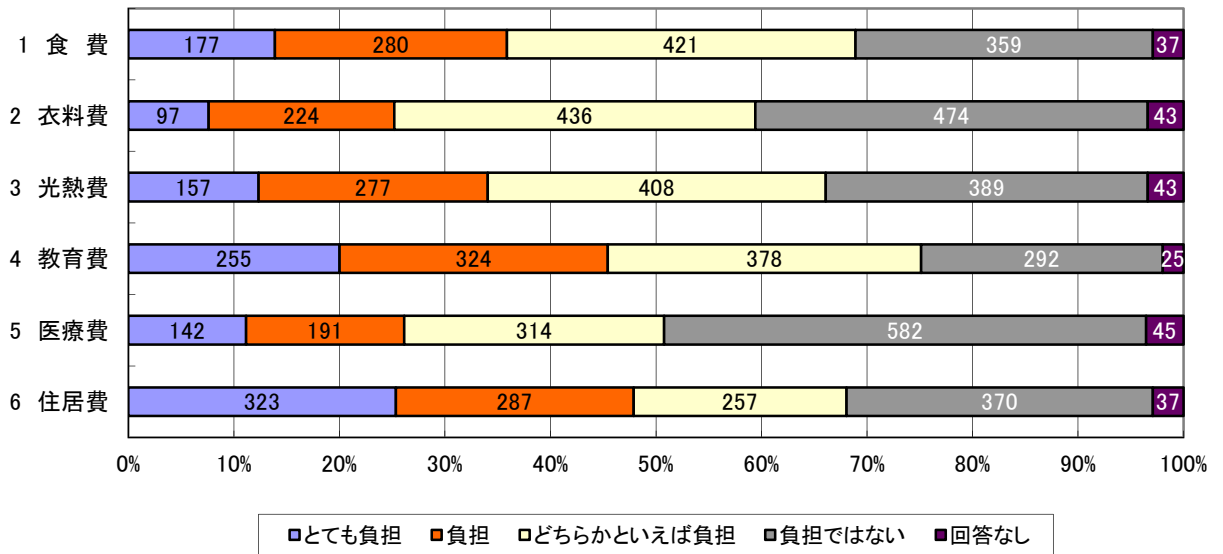
※単身赴任・入院・入所の方を含め家計を一緒にしたり定期的に帰宅する方も含めてください。



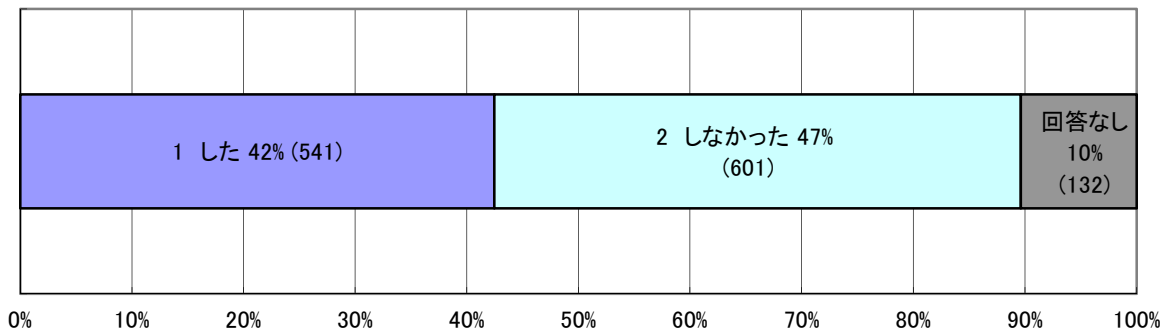
問3 子どもを育てるにあたって、あなたは今までに経済的な問題で困ったことがありますか。



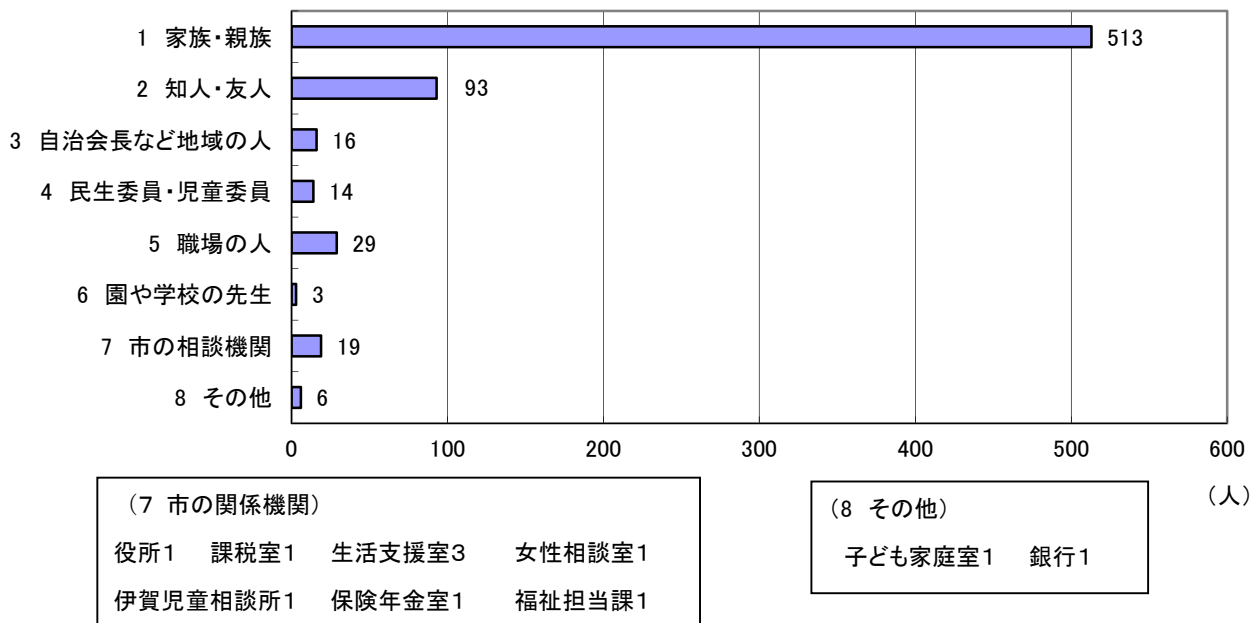
問4 次の項目のうち経済的に負担になっているものはありますか。あてはまる番号にマークしてください。



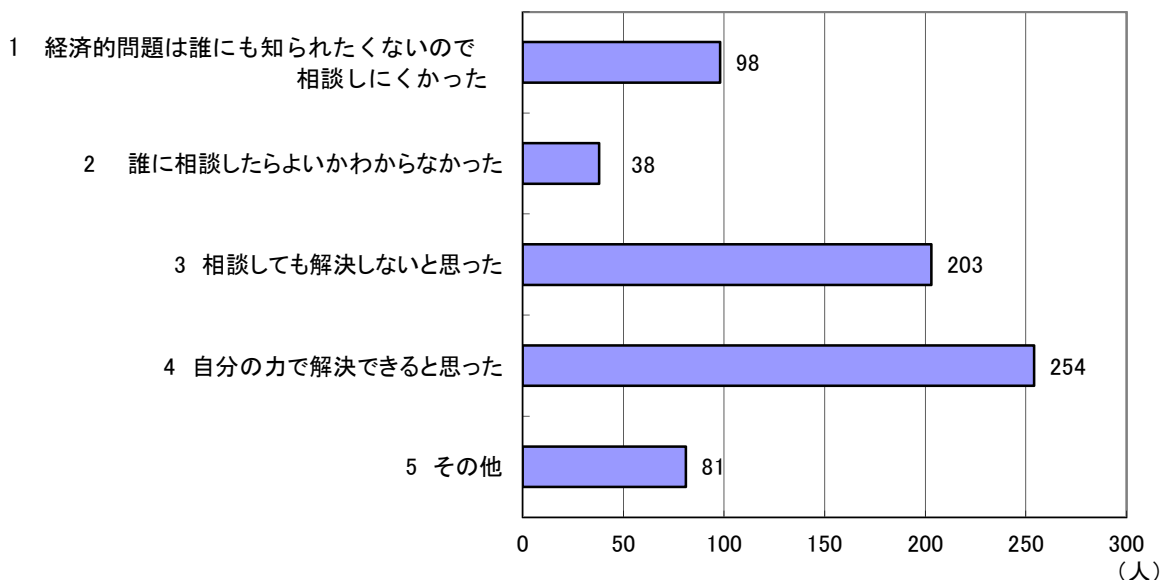
問5 経済的に困ったときに誰かに相談しましたか。



問6 問5で「した」と回答された方にお尋ねします。誰に相談しましたか。あてはまるものすべてにマークしてください。(複数回答)



問7 問5で「しなかった」と回答された方にお尋ねします。なぜ相談しなかったのですか。あてはまるものすべてにマークしてください。(複数回答)



(5 その他)		
困っていない 35		
〔以下、1件〕		
相談する人がいない	心配かけたくない	恥ずかしい
他に負担をかけたくない	病休中だった	収入を増やせばよいと思った
一時的なものであった	自分で解決するしかなかった	なんとなく終わった
夫婦で考えることだから		

問8 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えやご意見があれば、回答票に自由にお書きください。

1 子どもの学習支援や教育に関する支援について

手当	児童手当(年齢引き上げ・増額)	5
学費	高校まで無償化	15
	教育費(給食・教材・バス代)の支援または免除	15
	塾への補助	15
	給食費免除	12
	奨学金制度の改善(市独自の制度も)	8
	高校義務化	7
	大学無償または補助	5
	教材・制服の無償化・支給	3
居場所・学習支援	学習支援や子どもの居場所づくり(地域・ボランティアで活動や学習をする)	31
学校教育	学校教育の充実(塾へ行かなくてもよいような指導を・補習・ボランティアの活用)	40
保育・幼児教育	学童保育の充実(時間延長・料金を安く)	15
	幼稚園割引制度	3

体制・仕組み	相談・訪問制度	2
その他	公園の整備	1
	親の資質向上・親の学習の場を作る。	1
	個人の問題	1
	教材やクラブの遠征にお金をかけすぎ。	1
	今で十分	1

2 経済支援について

給食	中学給食(導入・無料)	22
学費	教材・制服・旅行代・交通費(補助・貸与・リサイクル・現物支給)	12
	入学時祝い金	4
	給付型奨学金導入・奨学金制度見直し	4
	学費無料	3
	高校・大学まで補助	2
保育・幼児教育	幼児教育無料・補助	4
	学童保育無料・定員増・補助	2
	保育所増設	1
	病児保育増設	1
医療費	医療費窓口負担なし(入院時の高額な時だけでも)	34
	医療費は不正があるので今のままでいい。	1
手当	児童手当増額(3歳からお金がかかる)	39
	児童手当以外の助成金・補助金(20歳まで)	9
	児童扶養手当増額	5
	児童手当を毎月支給してほしい。	4
	子育て応援キャンペーン増	1
	児童手当から学費を引く。	1
	児童手当は要らないから義務教育無料に。	1
制度・仕組み	相談機関を作る。	1
その他	子育て世帯減税	7
	子育て世帯に対する光熱費減額・食費割引・空家利用・家賃補助	6
	給与増額	4
	扶養控除復活	3
	扶養控除の枠上げる。	2
	児童手当を子どものために使う仕組みを。	2
	名張市時給 1000 円特区	1
	働く場を作るための大企業誘致	1
	今で十分	1
	市に期待しない。	1

3 生活支援について

食	小中学校完全給食・無料	29
	子ども食堂を増やす。	5
	学校に購買(パンを買えるように)	5
学費	教材の無料化・貸与・制服廃止	4
	現物支給	3
保育・幼児教育	学童保育の充実(増設・定員増・時間延長)	7
	託児施設の充実(病児・夜間・時間延長)	3
	ファミリーサポート利用補助・安く	3
手当	児童手当延長	10
	児童扶養手当満額支給	1
	子育て世帯一時金	1
医療費	医療費窓口負担なし(予防注射無料・年齢延長・保護者も)	35
制度・仕組み	家庭訪問をしながら定期的に必要な支援を考えるべき。	6
	敷居の低い相談窓口づくり	3
	親の悩みを話せる場を作る。	2
	専門カウンセラーを学校に常駐	2
	地域での子どもの見守り 支援員のきめこまやかな対応ができるように。	1
	シルバー人材の利用・高齢者を学校に	1
	育児相談や相互扶助の地域ぐるみでのサポート体制	1
	里親・養護学園の拡大	1
住居・家事	家賃補助・市営住宅増・空家バンク	4
	物を譲るシステム	3
	無料家事代行サービス・送迎支援	2
	効率的に家事をする方法を教えてほしい。	1
居場所	勉強・食事・宿泊できる施設・子どもが安心して過ごす場	1
その他	子育て家庭特典つき買い物・光熱費補助・ゴミ袋配布	8
	大企業からお金を集める。	3
	生活保護・児童扶養手当の不正受給について実態調査を。	3
	公園の整備(木陰・遊具)	2
	男性の働き方の変化・企業への働きかけ	2
	増税しないで(消費税・固定資産税)	1
	地産地消で安く買えるように。	1
	子どもの貧困と軽々しく言わないで。みんな頑張っている。	1
	やや貧困までフォローしてほしい。	1

4 保護者や子どもの就労支援について

就労	職場づくり(働き方・休暇・託児・企業内保育所・ワークシェア・企業の理解)	28
	就労の場の確保 働く場のある街づくり	12
	短時間パートを増やす。	4
	経済的なことを心配しなくてもよい社会づくり	3
	外国人への差別がある。	2
	障害者が働く場を増やしてほしい。	2
	正規雇用を増やす。	1
	時給を上げてほしい。	1
子どもへの教育	子どもに働くということの意味を教育する。教育が必要 職場体験の充実	4
保育・幼児教育	学童の充実(保育料安く・休日も)	41
	保育園の充実(入りやすく・安く)	26
	パートや休職中でも保育園に入れてほしい。	3
	病児保育の充実	3
	子育てボランティアが増えてほしい。	3
制度・仕組み	資格取得への支援	4
	相談機関の充実	2
	ハローワークの時間延長	1
	中卒での就労支援	1
	高校生以下へのアルバイトなどの就労支援	1
その他	中学給食	4
	一人で育児をしている人の集まれる場がほしい。	1
	親の研修	1
	PTA役員の負担、働けないので活動の縮小を。	1

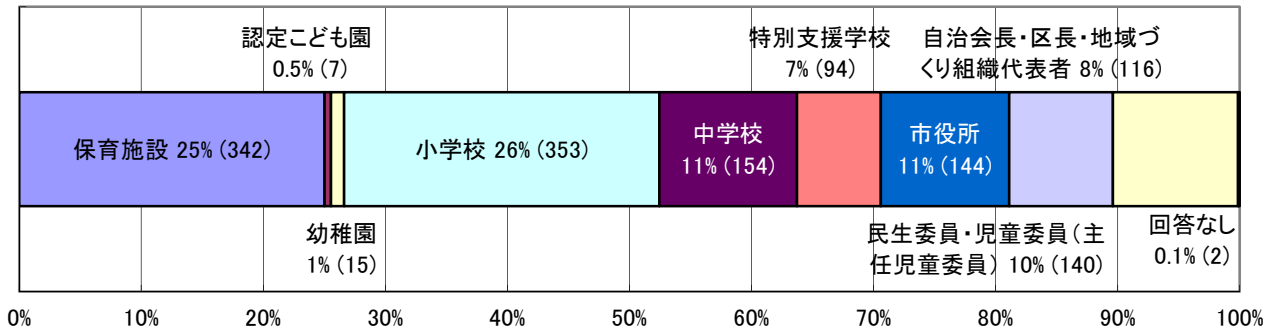
問9 「子どもの貧困」について、お考えやご意見があれば、回答票に自由にお書きください。

助け合い、困ったときは助けを求められる近所付き合い、学校との関係が必要。どこに相談していいかわからないのが現状。
知識や教養を身につけること、資格を身につけることが貧困から抜けだせる一つの力だと思うので、学校でしっかり身につけてほしい。
困っている子どものいる家庭への支援を厚くすることで、より住み心地のよい市になり、他県からの移住も増え、名張市の経済もよくなり、家庭も明るくなり、親の心の余裕もでき、子どもがすくすくと育っていく。
「貧困です」と自分から言いにくい。どこに相談していいかわかりにくい。
お金がないから進学できずサラリーの高い会社に入れず貧困が続く。本人に能力があってもそれが断ち切れず連鎖していくのは悲しい。国レベルで改善してほしい。景気の回復を。
市議員を辞めさせる。(給料高すぎ)
相談できる窓口があると助かるが、なかなか相談しにくかったり、どうしていいかわからなかったりするので、いろいろな関係機関の連携が大切。

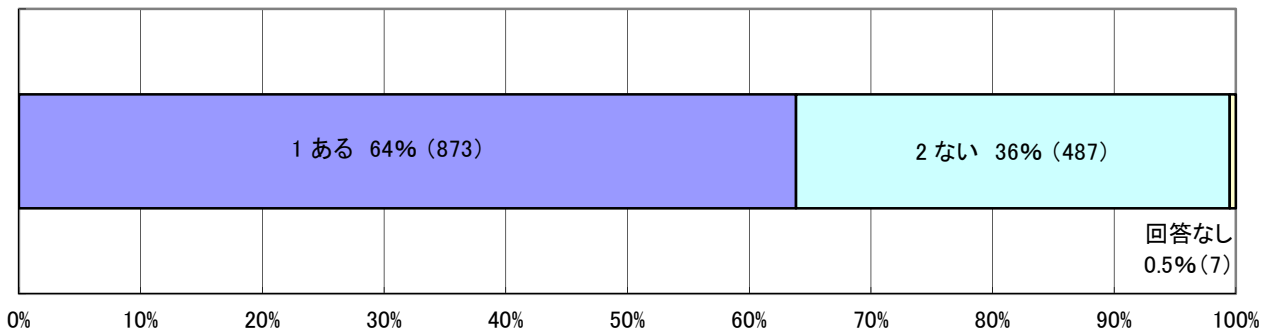
今の時代、習い事して当たり前、塾に行くのが当たり前、スマホを持つのが当たり前、このどの1つでも欠けると貧乏人のように思われている世の中がおかしい。
貧困家庭でも給食があれば、1日1回は栄養のある食事を取ることができる。
この調査で子どもの貧困ということを知った。家庭環境や経済状況が違う中で、どのような支援をしていただいたら皆が希望を持って将来へ向かって行けるのか、これを機会に考えたい。
親の責任。
子どもには罪はない。親の教育をしてほしい。
親の教育のレベルの低さが収入の低さにつながるので、連鎖にならないよう教育の質を上げるべき。
子ども食堂の取り組みがもっと広がればよい。
まず「産みの場」を増やすこと。産婦人科・小児科が少なすぎる。
母子家庭でがんばっている方もおられるが、偽装離婚もあるのでしっかり調べてほしい。
子育てにかかわる能力、気力などが足りないのかもしれない。仕事が多忙すぎるのかもしれない。社会人になってからも職場や地域でも育児について学ぶ場が必要かな。
子どもの貧困といっているが本当にそうなのか。親が贅沢になっているのでは。食べもの、着るもの、遊びをもう少し慎み、子どもに物を与えるのではなく、無い中、いかに喜び楽しむか。豊かになる分、大切な心が貧しくなる気がします。

関係機関・地域関係者対象実態調査 集計結果

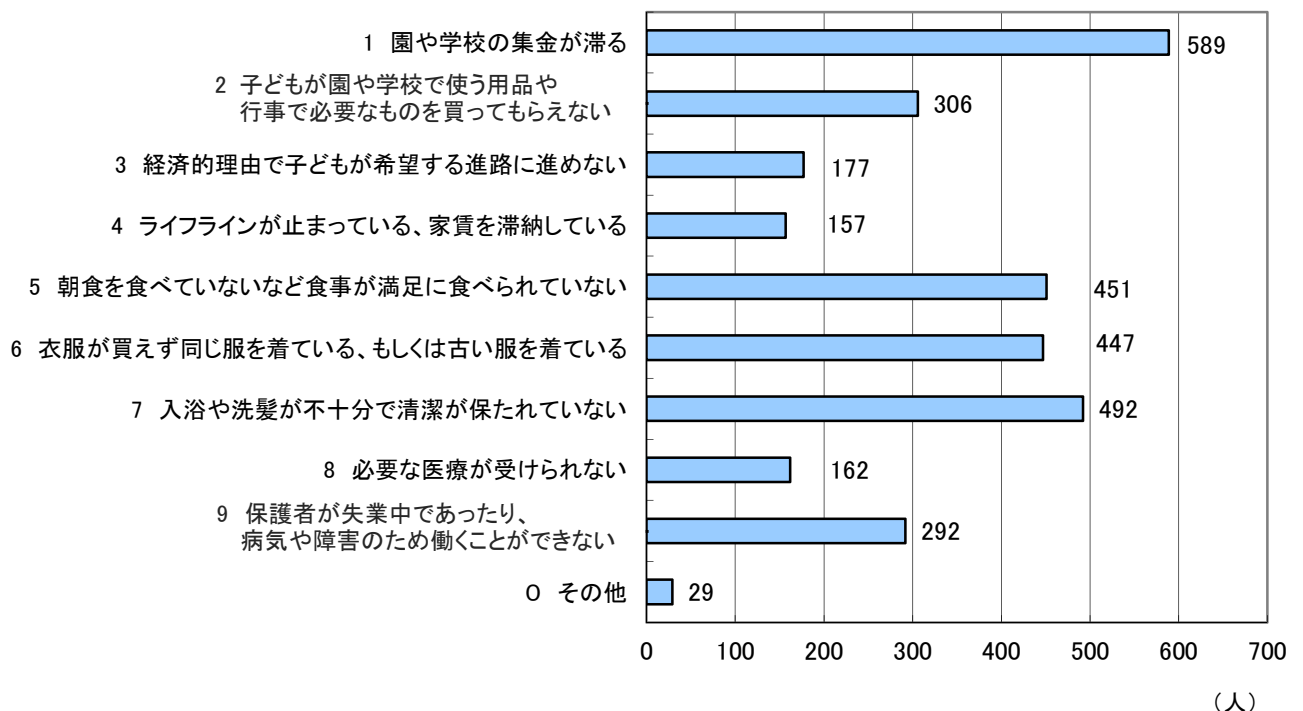
問1 あなたの職場、あるいは役職は何ですか。



問2 今までに子どもと触れ合ったり、保護者と関わったりする中で、「子どもの貧困」を実感されたことがありますか。



問3 問2で「ある」と回答された方にお尋ねします。具体的にはどのような内容でしたか、あてはまるものすべてを選んでマークしてください。

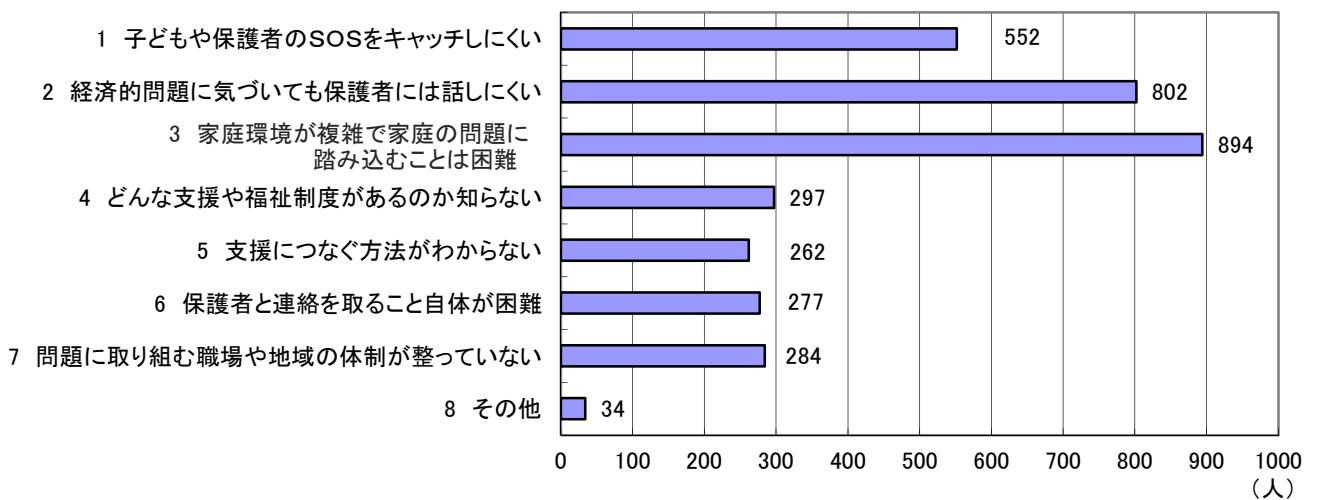


その他

金銭管理が親ができない 2
 下の子の面倒のため学校を休む 2
 [以下、1件]
 虐待
 持ち物がぼろぼろ
 発育が不十分
 生活のためアルバイト量が多い
 散髪されていない
 多忙で連絡がつかない
 卒業アルバムを買ってもらえない

生活保護を受けている 2
 母子家庭 2
 多重債務
 就学援助を受けている
 親が働かず、学校へ行かせようとしていない
 愛情不足
 絵本の普及率が低い
 家事をして授業中ぐったりしている
 習い事の野球やサッカーに入れれない

問4 **全員にお尋ねします。**「子どもの貧困」をめぐる諸問題について、あなたの職場や地域で対応することの難しさや限界などについてお感じになることすべてを選んでマークしてください。



その他

知らない(気づかない、外見上わからない) 9
 学校が関われない問題である 2
 保護者としての自覚と責任感に乏しい 2
 [以下、1件]
 貧困のスパイラルから抜け出せない
 一番お金がかかるのに、高校や大学の支援が少ない
 地域と交流を持とうとしない
 子どもの貧困について知ることがない
 民生・児童委員に地区の子どもの情報を頂きたい
 学校との情報共有がない
 社会制度そのものの問題
 市の支援が十分されていない
 就労している人の給与を上げてほしい
 父親とは話しにくい
 学校は貧困に関して勉強不足
 不登校になった時、親と子ども・学校の思いにずれがある
 保護者の生活改善は一朝一夕にはできない
 自己表示しやすい環境づくりに努める
 保護者が行政相談の方法すら知らない
 個人情報に踏み込めない
 親が精神的な病気で助言に理解がない
 子どもの現状と親の認識が異なる
 チェックリスト、支援マニュアルがあれば
 関係機関に働く職員の多忙と人手不足
 経済的問題だけでなく、親の能力や家庭関係など複雑である
 本人に困り感がなかったり、周囲に介入してほしくないと考える人への支援の困難さがある

問5 あなたが今までに「子どもの貧困」に関わる問題に対して、支援を試みたが、思うような支援ができなかった事例があれば、差支えない範囲で回答票にお書きください。

保護者が話を聞いてくれない・電話が繋がらない。	12
保護者の問題意識の低さ。働く意欲のなさ。	7
保護者に言いにくい。	4
希望する進路決定ができなかった。	3
親が子どもにお金をかけずほかに使ってしまう場合、なかなか話ができなかった。	3
就学援助につなげようとしたが、結局、親のお金の使い方の問題だった。	3
保護者のメンタルの問題。	3
援助の申請を勧めたが返事がないまま1年が過ぎた。申請を断られた。	3
福祉との連携が進まなかった。	3
集金が滞った。催促するしかなかった。	2
逆に保護者から反論を受けた。	2
経済的問題については保護者と話しづかった。	2
保護者の遊興費に使われていた。理解求めたが伝わらなかった。	2
子どもが体調が悪くても病院受診してくれない。	2
生活保護のため福祉課につないだ。	2
小学校から義務教育中兄弟4人不登校、連絡しても居留守が使われた。やっと、週1度、家庭訪問することができたことがあった。	2
給食を多く盛り付ける。沐浴時、首筋など汚れのたまりやすいところをきれいにした。	2
親が逃げて家庭にあまりいない。金銭がない。	2
どこまで踏み込んでいいのかわからない。	2
思いを聞くことはできるが金銭的な支援はできない。	2
提案しても保護者はやってくれなかった。	2
母子家庭の場合、後ろに支援者(男性)いる場合がある。実家との関係性にも左右されるので実態がつかめない。	1
風呂に入らない家庭があり、声かけしたが改善されなかった。学校で体を拭いた。	1
破けたり穴の開いたスニーカーをはいていた。身の回りの世話をしてもらえていなかった。叩かれていたが何もしてあげられなかった。	1
家庭の問題と言われた。	1
1年間1回だけしか集金が出なかった。家庭に連絡してもつながらなかった。	1
親に養育の問題があり、家庭に入り支援したが、中高生になっても自立の姿が見えなかった。	1
ご飯を作ってもらえない子がいるが家庭のことなのでなかなか言えない。	1
地域でイベントをするが来てもらいたい家庭の子どもは協力が得られない。	1
保護者会費集金が払えず、待ってもらったが、いつ収入があるのか不安だった。	1
母子家庭で母親が病気の時、祖父母に支援を依頼した。	1
親との関係ができず支援できなかった。	1
施設の子どもと交流を持つ機会はあるが、年1度では難しい。	1
夫婦問題で母がストレスで救急車で運ばれた。子どもが「1000円ください」と2~3回言ってきた。	1

バイトして定時制高校に通っていた。遅刻が多かった。単位取得が難しかった。多くの配慮をして単位をとり、社会人となった。	1
衣類やかばんのお下がりをあげた。ご飯をいっぱい詰めてきたらと言ったら、夕ご飯がなくなると言った。中学給食を希望。	1
子どもが経済的不安で不登校になり、抜け出せない。	1
学童が負担だと言われたので減免を伝えたが、民生委員には相談したくないと言われた。	1
「朝食を食べていない」、「お風呂に入っていない」と保護者に伝えたが、保護者は「大丈夫です」と言ってそのまま。	1
「園指定の服が買えない、私服で」といわれ、親身に話を聞いたが、あまり納得のいかない状態で終わっている。	1
父親が未就労で経済的困難だったので生活保護につなげたが働かない。やる気の問題なのか難しい。	1
「大丈夫」と言ってなかなか話してもらえない。	1
子どもの友達にご飯を食べさせてあげましたが、毎日来るようになったので断った。	1
父親の浪費で生活苦。集金も滞る。就学援助申請をしたが所得が多くてできなかった。	1
母親がメンタルで援助の申請の訂正をお願いしても書類が提出されなかった。	1
子どもが学校を卒業するまで自治会費を免除したが、卒業しても親からの積極的な働きかけはなかった。元に戻すのが大変だった。	1
保護者との関係が築けず上司と何回も家庭訪問を試みたが何の進展もなく支援もできなかった。この家庭に寄り添った支援・制度・機関があればと思った。	1
忘れ物をし、貸すが返ってこない。何度も声をかけるが戻ってこない。ずっと貸したものを使っている。自分のものを持ってこない。何度も言うせいか、言いにくくなる。	1
昼食の弁当を持ってこないの、自分の弁当を分けたりコンビニ弁当を与えたことがある。	1
子どもの様子を見て朝ごはんを食べていないようだったらおやつを与えたことがある。	1
ネグレクトになっているところが多く保護者に支援(福祉)が必要だと思った。	1
保護者の就労支援は教員の立場では困難。	1
警察、児童相談所に連絡したがすぐには解決しない。	1
経済的に困難で母子家庭。働くことが優先され、子どもが不安定になっていた。	1
保護者自身の心身の問題、生活能力、DV等さまざまな問題があり、どう支援していくべきか難しい。小学校連携の、個人情報をごくまで伝えていかかわからない。	1
お金がないので修学旅行に行けないと言われた。	1
以前スーパーで4歳の女の子が1歳の子どもを世話していたので、市に連絡して調べてもらったがわからなかった。無籍の子もいるので不安です。	1
おねしょでぬれたシーツを洗剤で洗って家庭での負担を軽くしたり、プールで泡を立ててお風呂代わりにしたが支援らしいことは何もできなかった。	1
子どもは親を求めているが親が子どものほうを向いていない。	1
電気を止められている家庭の子どもが、夜、学校へ来た。電気代が滞って止められていた。何もできなかった。	1
バスで行く行事にバス代が払えず参加できなかった。	1
夜、子どもが外でいるので声をかけた。お母さんが仕事で帰っていなかった。それ以上つっこめなかった。	1
金銭的支援は福祉と協力してできたが、親は変わらなかった。子どもに力をつけていくべきだ。	1
中学生くらいになると本人が親をかばうので自分の希望する進路に進めなくなる。	1
弁当を用意してもらえずおにぎりだけ持ってきた。夕食も食べていない様子。歯磨きの習慣なく虫歯が多い。未来に希望が持てず登校しなくなる。	1
施設から就職したのに親に連れ戻され金銭の搾取をされ、結局、仕事をやめてしまった。	1

保護者の話を聞き、支援を模索した。	1
修学旅行のバッグを買えなかったので私物を貸した。それでよかったのか。	1
高校に合格しても入学金等払えず退学した。本人も勉強よりアルバイトで家計に入れることを望んでいたが。支援が難しい。	1
学習支援を試みたが、学習する意欲がなく興味を示さなかった。	1
家族にキーパーソンがいない。	1
価値観の多様性を感じる(子どもの最善の利益といっても)自然食品・注射・優先順位など。	1
市営住宅への入居を勧める。	1
福祉の支援を拒否される。	1
親の精神疾患。子どもは児童相談所につないだが親への支援ができなかった。結局、子どもに影響してしまった。	1
同じ服。オムツはパンパン。入浴していない。食事が取れていない。それが日常だった。	1

問6 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えやご意見があれば回答票に自由にお書きください。

1 子どもの学習支援や教育に関する支援について

学費	奨学金制度の改善(市独自の制度も)	22
	高校まで無償化・義務教育無償化	14
	教育費(給食・教材・バス代)の支援または免除	10
	教材・制服の無償化や現物支給・リサイクル・レンタル	9
	高校義務化	4
	塾・習い事への補助	3
	就学支援制度の充実・申請しやすくする。	3
	給食費免除	2
	貧困と認定できたら学費をすべて無料に。	1
	大学無償または補助	1
居場所・学習支援	学習支援や子どもの居場所づくりや(地域・ボランティアで・活動や学習をする)NPO 立ち上げ	98
	貧困家庭への家庭教師の派遣	3
	子どもの居場所としての学校図書館の充実・開放	3
学校教育	学校教育の充実(塾へ行かなくてもよいような指導を・補修・ボランティアの活用・少人数)	41
	学校教育充実のため正規職員の増員、補助員の増員など	18
	教職員が子どもの厳しい状況をしっかり認識して将来を見据えて真剣にかかわる。	4
	放課後学校で過ごせるように。	3
	毎週の土曜授業	1
	教師の雑務を減らし福祉的支援ができる時間を確保・無駄な調査や教育内容の追加をなくす。	1
	特別支援学級生の学習支援の場	1
	貧困家庭への学習支援の充実(教育センター)	1

保育・幼児教育	学童保育の充実(時間延長・安く・指導員の資質向上・学習支援)	15
	保育料無料・時間延長・増設	5
制度・仕組み	相談・訪問制度	6
	関係機関と学校の連携	6
	子どもから悩みなど本音を出せる体制、その人が身近にいるかどうか課題	2
	民生児童委員の役割の充実	1
	利用できる制度を Q&A で広報に目立つように載せてみる。	1
	幼児期に身につけておきたい真情や態度力やスキルについてもっと保護者に知らせておく必要がある。そのためのチェックシートを作成し教員や保護者と一緒にスクリーニングするような制度	1
子どもへの教育	勉強をする意味を教え勉強の楽しさを伝える。	5
	経済力について子どもに教育する。	1
	職業体験が必要	1
その他	親の資質向上・親の学習の場を作る・そのための福祉面でのケア	6
	予算を増やす。	5
	子どもに眼を向けてくれる大人の存在	2
	養護施設・里親制度	2
	資格取得の支援	1
	集金未払い家庭への立替	1
	親がある程度経済的にやっていけるようになるまで支援を継続する。	1

2 経済支援について

給食	中学給食(導入・無料)	15
学費	教材・制服・旅行代・交通費(補助・貸与・リサイクル・現物支給)	21
	学費無料	14
	給付型奨学金・制度見直し	14
	高校・大学まで補助	4
	児童手当から学費を引く。	3
	就学援助費を修学旅行にも使えるように。	1
	就学援助費を自動天引きに。	1
保育・幼児教育	幼児教育無料・補助	2
	学校でお金を預かる制度	1
	保育所を増やす。	1
	保育園等の備品を援助する。	1
	学童保育無料・定員増・補助	1
医療費	医療費窓口負担なし(入院時の高額なときだけでも 予防注射無料)	16
手当	児童扶養手当増額	4
	児童手当以外の助成金・補助金(20歳まで)	2
食	子ども食堂	8
	フードバンク・リサイクル(スーパーの食品ロスを減らす等)	8

	市や地域で食には困らないような支援体制を作る。	1
住居	市営住宅を増やす。	1
	空き家の有効利用	1
就労	働く場を作るための大企業誘致	5
	給与増額	2
制度・仕組み	現在ある支援を広く知らせる。	8
	相談機関を作る・気軽に相談できる相談員を配置	8
	保護者の就労支援	8
	父子家庭にも支援を。	2
	養育費・面会交渉に関する相談窓口設置	2
	関係機関の連携のシステム	2
	日常的なかかわりのできる人材の確保	1
	申請の記入の手伝いやルビをふる。	1
	安定して働けるようになるまで支援を。	1
	子どもだけに使えるサービス	1
	情報の共有	1
	公的支援に強弱をつける。	1
	無利子の貸付制度	1
子どもへの教育	子どもに経済教育	2
その他	子どものためになる支援を。子どものためにお金を親が使っているのか。	多数
	申請と実態があっているか実態調査をして。	5
	保護者の意識改革のための教育	4
	バザーの実施	3
	子育て世帯減税	3
	親の金銭感覚を変えることは難しい。	2
	今で十分	2
	税収が増えるようなアイデアを募集する。	1
	地域力の向上	1
	募金	1
	法律改正	1

3 生活支援について

食	子ども食堂を増やす。充実・支援	19
	小中学校完全給食・無料	9
	フードバンク	6
	朝ごはんを食べさせてくれるところを作る。	2
	食育の充実 料理教室の開催	2
	学校で朝食を提供	1
	夕ご飯を食べさせてくれるところを作る。	1
学費	教材の無料化・貸与・制服廃止・リサイクル	5

	現物支給	1
	就学援助費の使途の緩和	1
保育・幼児教育	託児施設の充実(病児・夜間・時間延長)	6
	学童保育の充実(増設・定員増・時間延長)	5
	ファミリーサポート利用補助・安く	1
	地域型保育、高齢者による生活支援	1
手当	児童手当延長	1
医療費	医療費窓口負担なし(予防注射無料・年齢延長・保護者も)	4
居場所	勉強・食事・宿泊できる施設・子どもが安心して過ごす場 居場所	9
住居・家事	無料家事代行サービス・送迎支援	4
	家賃補助・市営住宅増・空家バンク	3
	再利用をする仕組み スマホでやり取りできれば。	2
	バザー	1
就労	男性の働き方の変化・企業への働きかけ	1
	就労支援	1
	市で非常勤職員を多く採用	1
子どもへの教育	子どもへの金銭教育	3
制度・仕組み	育児相談や相互扶助の地域ぐるみでのサポート体制	12
	地域での子どもの見守り コミュニティづくり 地域につなぐ支援員	9
	相談機関の充実 相談員増員	6
	家庭訪問をしながら定期的に必要な支援を考えるべき。	6
	ケアマネージャー・コーディネーターが必要	3
	生活保護等の申請サポート 手続き簡素化	2
	生活保護には生活指導をあわせて行うこと。	2
	行政と地域との連携を。	2
	支援についての広報	2
	まちの保健室の充実	1
	養育費の確保のための支援	1
	敷居の低い相談窓口づくり	1
その他	里親・養護学園の拡大	3
	親の意識改革	3
	SOSを言える社会に	3
	生活保護・児童扶養手当の不正受給について実態調査を	3
	大企業からお金を集める。	1
	保護者の金銭教育・指導	1
	保護者との関係づくり	1
	夜の見まわり・声かけ	1
	施設のシャワー無料貸し出し	1
	支援の拠点づくり(スーパーなど)	1
	増税しないで(消費税・固定資産税)	1

4 保護者や子どもの就労支援について

就労	職場づくり(働き方・休暇・託児・企業内保育所・ワークシェア・企業の理解)	23
	就労の場の確保 働く場のある街づくり	6
	正規雇用を増やす。	6
	障害者が働く場を増やしてほしい	4
	同一労働同一賃金	3
	経済的なことを心配しなくてもよい社会づくり	2
	市役所で非常勤採用を増やす	2
	外国人への差別がある	1
	学校のクラブ活動や休日の引率などを保護者の就労の場としてはどうか	1
保育・幼児教育	保育園の充実(入りやすく・安く) 待機児童解消	19
	学童の充実(安く・休日も)	4
	パートや休職中でも保育園に入れてほしい。	1
子どもへの教育	子どもに働くということの意味を教育する。教育が必要 職場体験の充実	9
学校教育	学校で学力の支援を。	3
	高校義務化 無償化	1
	職業訓練校を増やす。	1
制度・仕組み	資格取得への支援	7
	ハローワークの時間延長・充実	5
	相談機関の充実(訪問や面接による)	5
	就労前 就労後のケア	2
	民生委員の増員 個別対応できるように。	1
	働きながら学ぶ子どもに対するキャリアアップの支援	1
	相談窓口の広報	1
	ジョブコーチ制度	1
	広報にも求人情報を載せる	1
その他	保育士の待遇改善	1
	支援する側の待遇改善	1
	親の研修	1
	保護者に甘えがある	1

問7 「子どもの貧困」について、お考えやご意見があれば回答票に自由にお書きください。

心の貧困が広がっている。子どもの貧困は見えにくい。ぼろぼろの服を着ているわけではない。お金の有り無しにかかわらず贅沢品やスマホは持っている。お金がないという経済的な貧困ではなく、心の貧困を感じる。生きていくうえでさまざまな知識を教えてくれる大人が身近にいない。豊かな感性を磨くために必要な機会を得られない。自分が生きていく価値がある人間と思えない子どもの現状が感じられる。

実態がわからない。子どもに関する情報が少なすぎる。子どもの貧困を観察できるのは学校の教師だと思う。職員が児童と接する時間を工夫することが家庭の事情を把握することができる。学校の改革が重要。

<p>学校に関わるものは買わないが親の欲しいものはよく買っている。親の意識が学校や子どもに向いていないように感じる。</p>
<p>保護者への支援が第一。保護者の生活状況を改善することで解決できることもある。教育・福祉とも、まず保護者支援に力を入れることが必要。</p>
<p>子どもの貧困は親の責任である。</p>
<p>生活や経済といった多方面から保護者を支えるネットワークづくりが急務である。</p>
<p>困っている家庭と信頼関係をどこまでつくれるか。その最初が大切だと思う。</p>
<p>子どもはどんなにつらくても笑顔でいるので何があったのかを知るのは困難。親や子の SOS をどうしたら早期につかめるか悩みます。わかれば家庭、学校、行政と連携できますが短期で解決することはなく、長い眼で見守り寄り添うことが大事です。立ち上がるきっかけがきっとあると思います。</p>
<p>教育現場で気づくこともあるが、保護者同士で子どもたちを見ているほうが多くの問題に気づくことが多かった気がします。上手に利用できたら早期解決につながるのでは。</p>
<p>電話のほか、ラインやメールで相談できるようにするとよい。</p>
<p>名張市の現状を詳しく知りたい。</p>
<p>子ども食堂が全地域に広がるような市の支援を。市民センターを利用。</p>
<p>本当のハイリスクの家庭はネウボラのネットワークであがってくることが多い。名張はよくやっているのではないか。まちの保健室もあるし。</p>
<p>学校教育だけでは限界があります。地域福祉からの支援をお願いしたい。</p>
<p>子どもに関する施設や仕事をしている人への支援もしてほしいです。</p>
<p>貧困の問題だけではなく、失敗してもやり直せる社会、夢が持てる社会が必要だと痛感します。</p>
<p>子どもを支援する機関の連携が取れていないことや家庭に支援する機関が踏み込むことが困難すぎるため、子どもへの虐待や貧困から救い出すことが難しい。</p>
<p>いつでも手助けしたいです。</p>
<p>子ども食堂の報告に興味があります。</p>